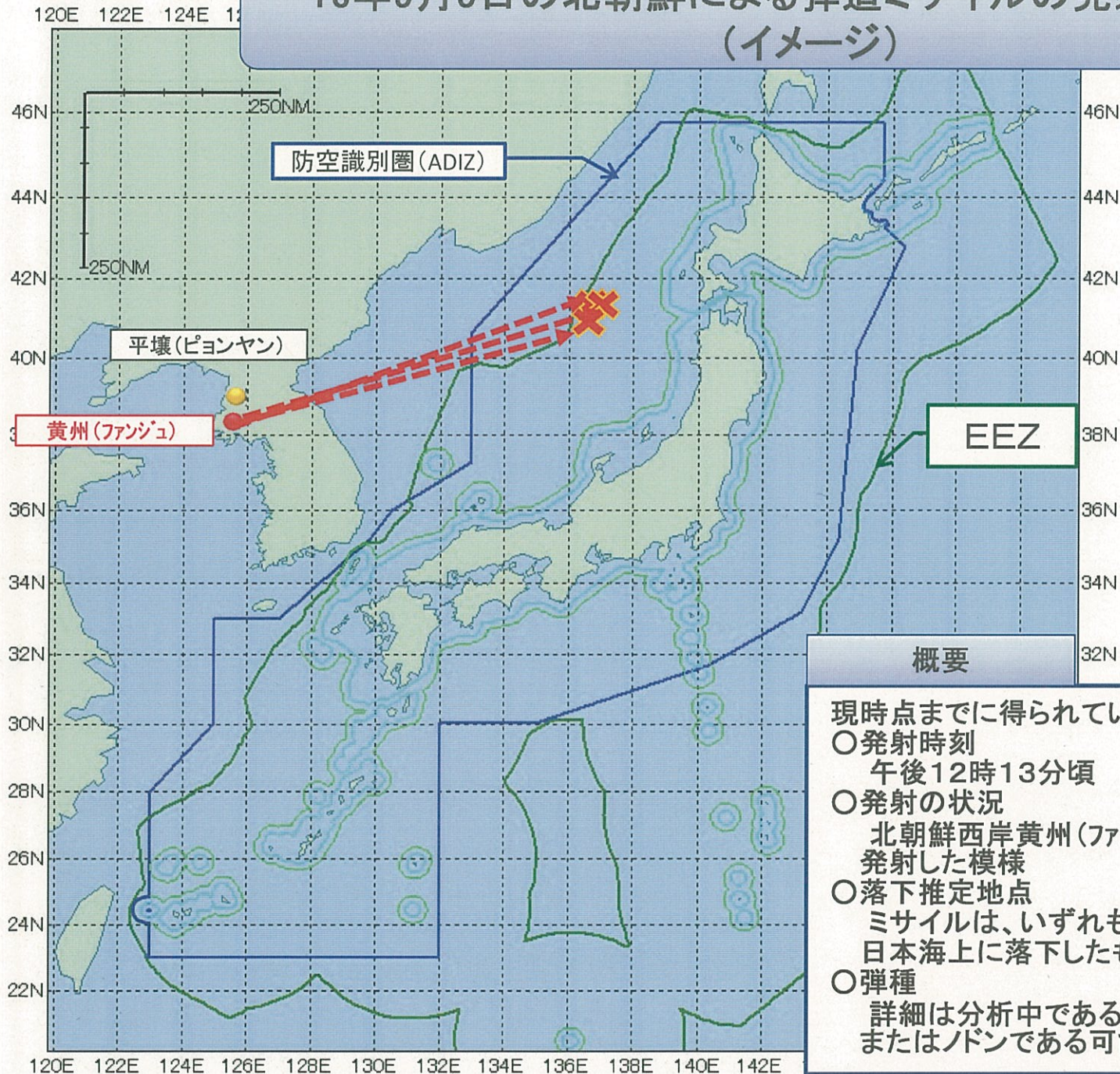


北朝鮮によるミサイル発射について

2016年9月6日

防衛省

16年9月5日の北朝鮮による弾道ミサイルの発射について (イメージ)

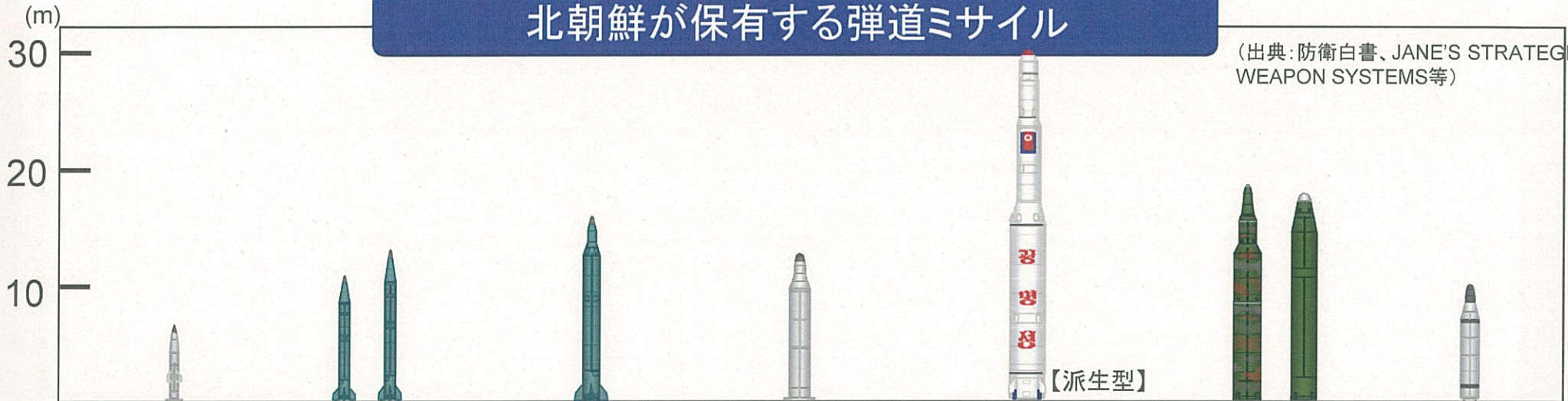


概要

- 現時点までに得られている諸情報を総合的に勘案すると、
- 発射時刻
午後12時13分頃
 - 発射の状況
北朝鮮西岸黄州(ファンジュ)付近から、弾道ミサイルを計3発発射した模様
 - 落下推定地点
ミサイルは、いずれも約1,000km東北東方向に飛翔し、日本海上に落下したものと推定
 - 弾種
詳細は分析中であるが、飛翔距離等に鑑みれば、スカッドまたはドンである可能性

北朝鮮が保有する弾道ミサイル

(出典:防衛白書、JANE'S STRATEGIC WEAPON SYSTEMS等)



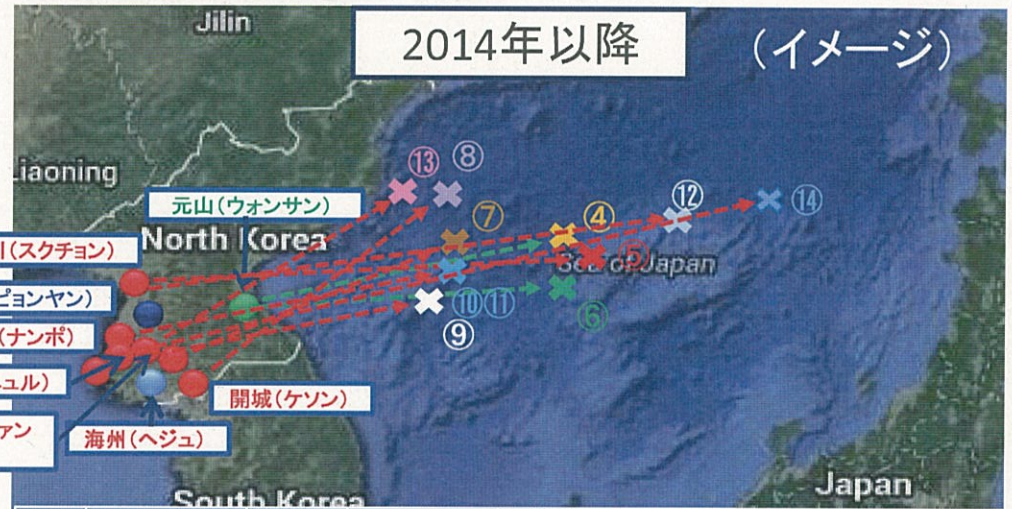
	トクサ	スカッドB/C/ER	ドン	ムスダン	テポドン2	KN08/KN14	SLBM (KN-11)
射程	約120km	約300km/約500km/約1000km	約1,300km	約2,500~4,000km	約6,000km/約10,000km以上	5,500km以上 (ICBMとの指摘)	不明
概要	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北朝鮮が96年にSS-21及びTELをシリアより入手し開発したとの指摘 ○ 固体燃料推進方式の短距離弾道ミサイル 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 80年代半ば以降、スカッドB/Cを生産・配備 ○ スカッドCは推進剤タンクを大型化、ERは胴体部分の延長や弾頭重量の軽量化 	<ul style="list-style-type: none"> ○ スカッドCのエアフレーム及びエンジンを大型化 ○ 我が国のほぼ全域がその射程内に入る可能性があり、既に配備されていると考えられる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北朝鮮が90年代初期に入手したロシア製SS-N-6を改良したとの指摘 ○ 現在開発中とみられる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1段目にドンの技術を利用したエンジン4基を、2段目に同様のエンジン1基を利用と推定 ○ 派生型は更に3段目の推進装置を付加し射程を延長 ○ 現在、開発中とみられる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 2012年4月及び2013年7月の閲兵式に登場 ○ 2015年10月の閲兵式にはこれまでと異なる形状の弾頭部で登場(KN14と呼称) ○ 現在開発中とみられる 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北朝鮮が90年代初期に入手したロシア製SS-N-6をベースに開発したとの指摘 ○ 現在開発中とみられる
運用	TEL	TEL	TEL	TEL	発射場	TEL	コレ(新浦)級潜水艦
実績等		<ul style="list-style-type: none"> ○ 06年7月5日にキテリョンから発射されたものと考えられる ○ 09年7月4日にキテリョンから発射された可能性 ○ 14年:合計5回発射 ○ 15年3月2日にナンポ付近から発射 ○ 16年3月10日にナンポ付近から発射 ○ 16年7月19日にファンジュ付近からスカッドまたはドン(可能性)を計3発発射 ○ 16年9月5日にファンジュ付近からスカッドまたはドン(可能性)を計3発発射 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 93年5月の発射実験で使用された可能性が高い ○ 06年7月5日にキテリョンから発射されたと考えられる ○ 09年7月4日にキテリョンから発射された可能性 ○ 14年3月26日にスクチョン付近から発射 ○ 16年3月18日にスクチョン付近から発射 ○ 16年8月3日にウニョル付近から発射 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 16年4月にウォンサンから発射され、失敗と推定 ○ 16年5月にウォンサンから発射され、失敗した可能性 ○ 16年6月にウォンサンから発射 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 06年7月5日にテポドン地区からテポドン2を発射し、失敗 ○ 09年4月5日のテポドン地区からの我が国上空を飛び越える発射でテポドン2または派生型を利用 ○ 12年4月13日の東倉里(ドンチャンリ)地区からの発射でテポドン2または派生型を利用、発射は失敗 ○ 12年12月12日の東倉里地区からの発射でテポドン2派生型を利用、何らかの物体を地球周回軌道に投入(16年2月7日にも、類似した弾道ミサイルを発射) 	発射実績なし	<ul style="list-style-type: none"> ○ 15年5月 北朝鮮、SLBM試験発射に成功と発表 ○ 16年1月 北朝鮮、SLBMの射出試験映像(15年12月の金正恩党委員長の活動に関する記録映画)を放映 ○ 16年4月、日本海上より発射 ○ 16年7月、新浦沖より発射 ○ 16年8月、新浦付近より発射

2016年に行われた北朝鮮による挑発事案

核実験
 弾道ミサイル発射

日付	挑発の概要	場所	弾種	飛翔距離
16.01.06	4回目の核実験を実施	豊溪里(ブンゲリ)	—	—
16.02.07	「人工衛星」と称する弾道ミサイルを発射	東倉里(トンチャンリ)	テポドン2派生型	約2,500km (2段目落下地点)
16.03.03	短距離発射体6発を発射	東岸・元山(ウォンサン)付近	300ミリ多連装ロケット(可能性)	約100~150km
16.03.10	弾道ミサイル2発を発射	西岸・南浦(ナンポ)付近	スカッド(推定)	約500km
16.03.18	弾道ミサイル1発を発射	西岸・肅川(スクチョン)付近	ノドン(推定)	約800km
16.03.21	短距離発射体5発を発射	東部・咸興(ハムフン)南方	300ミリ多連装ロケット(可能性)	約200km(韓国合参)
16.03.29	短距離発射体1発を発射	元山(ウォンサン)付近	300ミリ多連装ロケット(可能性)	約200km(韓国合参)
16.04.01	短距離地对空ミサイル3発(内2発は失敗)を発射	宣徳(ソンドク)付近	短距離地对空ミサイル(KN-06)(可能性)	約100km(韓国報道)
16.04.15	弾道ミサイル1発を発射	東岸地域	ムスダン(指摘)	不明
16.04.23	潜水艦発射弾道ミサイル(SLBM)1発を発射	新浦(シンポ)沖	SLBM(推定)	約30km(韓国合参)
16.04.28	「ムスダン」と推定される弾道ミサイル2発を発射	元山(ウォンサン)	ムスダン(推定)	不明
16.05.31	中距離弾道ミサイル(IRBM)1発を発射	元山(ウォンサン)	ムスダン(可能性)	不明
16.06.22	「ムスダン」と推定される弾道ミサイル2発を発射	元山(ウォンサン)	ムスダン(推定)	1発目: 約100km(最大) 2発目: 約400km
16.07.09	潜水艦発射弾道ミサイル(SLBM)1発を発射	新浦(シンポ)沖	SLBM(推定)	数km(韓国報道)
16.07.19	弾道ミサイル3発を発射	西岸・黄州(ファンジュ)付近	スカッド又はノドン(可能性)	1発目: 約400km 3発目: 約500km
16.08.03	「ノドン」と推定される弾道ミサイル2発を発射	西岸・殷栗(ウンニョル)付近	ノドン(推定)	約1,000km (1発は発射直後に爆発)
16.08.24	潜水艦発射弾道ミサイル(SLBM)1発を発射	新浦(シンポ)付近	SLBM(推定)	約500km
16.09.05	弾道ミサイル3発を発射	西岸・黄州(ファンジュ)付近	スカッド又はノドン(可能性)	約1,000km

過去のドン・スカッド発射事案



	発射日	時刻	弾種(推定)	発射数	飛翔距離	発射場所
①	93. 5下旬	不明	ノドンの可能性	不明	不明(日本海に向けて)	不明
②	06. 7. 5	0330頃 ~0820頃	スカッドおよびノドン	6発	約400km	キテリョン
③	09. 7. 4	0800頃 ~1730頃	それぞれスカッドまたはノドン	7発	※ 最長約450km	キテリョン

	発射日	時刻	弾種(推定)	発射数	飛翔距離	発射場所
④	14. 3. 3	0620頃、 0630頃	スカッド	2発	約500km	元山(ウオンサン)付近
⑤	14. 3. 26	0230頃、 0240頃	ノドン	2発	約650km	肅川(スクチョン)付近
⑥	14. 6. 29	0500頃	スカッド	2発	約500km	元山(ウオンサン)付近
⑦	14. 7. 9	0400頃 ~0420頃	スカッド	2発	約500km	平壤の南方約100km
⑧	14. 7. 13	0120頃 ~0130頃	スカッド	2発	約500km	開城(ケソン)付近
⑨	14. 7. 26	2135頃	スカッド	1発	約500km	海州(ヘジュ)の西方約100km
⑩	15. 3. 2	0630頃、 0640頃	スカッド	2発	約500km	南浦(ナンポ)付近
⑪	16. 3. 10	0522頃、 0527頃	スカッド	2発	約500km	南浦(ナンポ)付近
⑫	16. 3. 18	0554頃	ノドン	1発	約800km	肅川(スクチョン)付近
⑬	16. 7. 19	0544頃、 0558頃、 0636頃	分析中(スカッドまたはノドンの可能性)	3発	約400km(1発目) 約500km(3発目)	黄州(ファンジュ)付近
⑭	16. 8. 3	0753頃	ノドン	2発	約1,000km	殷栗(ウンニョル)付近

※ 発射された計7発の弾道ミサイルは、いずれも09(平成21)年6月22日に北朝鮮より連絡を受け、海上保安庁が航行警報を発出した軍事射撃訓練区域(1)北緯39度9分 東経127度37分、2)北緯41度12分 東経129度50分、3)北緯41度30分 東経131度59分、4)北緯41度15分 東経132度6分および5)北緯38度55分 東経128度2分、で囲まれる区域)内に落下したのではないかと推測される。